



Vol. 3

ともだち

こんにちは 絵本



—3才頃から—



一宮市立子ども文化広場図書館

2012年6月

とんことり

筒井頼子 さく／林明子 え
福音館書店 1989年

かなえは山の見える町にひっこしてきまし
た。荷物を片づけていると小さな小さな音が
します。「とんことり」。そのたびにゆうびん受
けには、すみれの花たば、たんぽぽ3本、そし
て手紙が届きます。



おともだちになってね

岡本一郎 作／つちだよしはる 絵
金の星社 1999年

とんがり山の森の中に、くまのフーは
ひとりぼっちで住んでいました。おいしい
おたんじょう日ケーキもひとりじゃさみし
いな。フーは勇気を出して一歩一歩つ
りばしをわたり、むこうの森をたずねま
す。



ともだち に なろうよ



ともだちや

内田麟太郎 作／降矢なな 絵
偕成社 1998年

「えー、ともだちやです」とキツネがちよ
うちゃんを持って、のぼりをたてて『ともだ
ちや』をはじめました。1時間100円でと
もだちになってくれるって。でも、ともだ
ちって売れるのかな？ 買えるのかな？



と・も・だ・ち

ロブ・ルイス さく／まつかわまゆみ やく
評論社 2001年

ひっこしてきたウサギのアンディは、ともだち
がほしいけど、どの子も気に入りません。ゾエ
はらんぼうだし、マージーはやかましいし、
バーニーはぼんやり。ひとりぼっちのアンディ
にママは言いました。

* 出版年は、日本での初版出版年です。

あおくんと きいろちゃん

レオ・レオーニ 作／藤田圭雄 訳
至光社 1967年

青色のあおくんは、なかよしの黄色のきいろちゃんにあえてうれしくて、うれしくて。いっしょに遊んだら、ふたつの色が重なって、みどり色になっちゃった。パパとママはみどりの子にびっくり。ちゃんとともにどれるのかな。



きみなんか だいきらいさ

ジャニス・メイ・ユードリー ぶん
モーリス・センダック え
こたまとこ やく
富山房 1975年

ジェームズとぼくはとってもなかよしだった。クルクルクッキーもわけたし、がまがえるのいばしょも教えたし、みずぼうそうだっていっしょにかかったんだよ。でも、でも、今日はちがうのさ!!

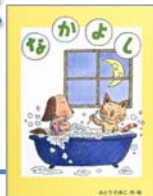
たろうのともだち

村山桂子 さく／堀内誠一 え
福音館書店 1977年

こおろぎはともだちになりたくて、ひよこに会いさつしたら、「ぼくのけらいになれ」って。ねこもいぬもみんないばって「けらいになれ」って言うんだよ。でもね、たろうだけは違ったよ。「けらい」じゃなくて「ともだちになろう、なかよしだ」って言ったんだよ。



ともだち は ステキだ



ともだち つれて よろしいですか

ベアトリス・シェンク・ド・レーニエ ぶん
ベニ・モントレソール え
わたなべしげお やく
童話館出版 2003年

王さまとおきさきさまから、おちやの招待状が届きました。ぼくは「ともだち つれて よろしいですか」とたずねます。そのあと、ばんごはん、おひるごはんにあさごはんの招待状。そのたびに、ぼくはともだちを次々につれて出かけました。

なかよし 新装版

さとうわきこ 作・絵
PHP研究所 2003年

なかよしのいぬとねこがいてね、今日もいっしょに大きなおふろにはいります。とくにすきなのはおふろの中でしゃぼん玉を作ること。こわれないように、そーつとそーつとしゃぼん玉を大きくしてたんだけど…。



まだまだ紹介します



『ふたごのひよちゃんぴよちゃん はじめてのようちえん』

バレリー・ゴルパチョフ 作・絵/なががわちひろ 訳
(徳間書店)

『なかよくしたら？』

カレン・バーバー 作/こだまともこ 訳(富山房)

『ともだちのたまご』

さえぐさひろこ 文/石井勉 絵(童心社)

『ともだちがほしいの』

柴田愛子 文/長野ヒデ子 絵(ポプラ社)

『ともだち いっぱい』

新沢としひこ 作/太島妙子 絵(ひかりのくに)

『こぎつねコンとこだぬきポン』

松野正子 文/二俣英五郎 画(童心社)

『あのときすきになったよ』

薫くみこ さく/飯野和好 え(教育画劇)

『ふたりは ともだち』

アーノルド・ローベル 作/三木卓 訳(講談社)

『なかよし』

シャーロット・ゾロトウ 文/ベン・シェクター 絵
みらいなな 訳(童話屋)

『ないた あかおに』

はまだひろすけ ぶん/いけだたつお え(偕成社)

『しんせつなともだち』

方軼羣 作/君島久子 訳/村山知義 画(福音館書店)

『ごめんね!』

ノルベルト・ランダ 作/ティム・ワーンズ 絵
三辺律子 訳(プロンズ新社)

『コッコさんのともだち』

片山健 さく・え(福音館書店)

『けんかのきもち』

柴田愛子 文/伊藤秀男 絵(ポプラ社)

『上手な絵本の読み方って?』

「上手に読めるかしら」と不安になることもあるでしょう。でもプロのよう
な特別な節まわしや演出はいりません。子どもはお父さんやお母さんに絵
本を読んでもらうことが何よりの楽しみなのです。聞き取りやすいように
ゆっくり読んでください。

いちばん大切なことは、絵本をなかだちにして親子がいっしょにゆったりと
した時間をすごすことです。子どもは、心をこめて絵本を読んでもらった経
験を重ねることで自分が大切な存在であることを実感するでしょう。